

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成30年6月28日(2018.6.28)

【公開番号】特開2017-138548(P2017-138548A)

【公開日】平成29年8月10日(2017.8.10)

【年通号数】公開・登録公報2017-030

【出願番号】特願2016-20834(P2016-20834)

【国際特許分類】

G 03 G 21/14 (2006.01)

G 03 G 15/01 (2006.01)

【F I】

G 03 G 21/14

G 03 G 15/01 114 A

【手続補正書】

【提出日】平成30年5月17日(2018.5.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

帶電された像担持体に静電潜像を形成する露光部と、

前記像担持体に形成された静電潜像に現像剤を供給することにより現像剤像を形成する現像部と、

前記像担持体に形成された現像剤像を中間転写体に転写する1次転写部と、  
台紙上に間隔をあいて設けられた複数のラベルを備える連続媒体を搬送する搬送部と、  
搬送される連続媒体に中間転写体に形成された現像剤像を転写する2次転写部と、  
連続媒体の搬送方向における前記2次転写部の上流に配置され、通過する連続媒体のラベルにおける前記現像剤像を転写する位置の間隔を検知する間隔検知部と、

前記間隔検知部が検知した前記間隔を間隔情報として記憶する間隔情報記憶部と、  
前記間隔情報記憶部に記憶された間隔情報に基づいて前記像担持体に静電潜像を形成するタイミングを制御するとともに、前記間隔検知部で検知した前記間隔に基づいて前記間隔情報記憶部の間隔情報を更新する制御部と、

を有し、

前記制御部は、

前記間隔検知部を通過したラベルの前記間隔情報に基づき、該ラベルの後に搬送され前記2次転写部に到達するラベルに対して現像剤像を転写する位置に合わせるように、前記露光部による前記像担持体に形成する静電潜像の形成タイミングを制御することを特徴とする画像形成装置。

【請求項2】

請求項1に記載の画像形成装置において、

前記制御部は、前記連続媒体を給紙する動作中または前記現像剤像を形成する動作中、前記間隔検知部で前記間隔を検知することを特徴とする画像形成装置。

【請求項3】

請求項1または請求項2に記載の画像形成装置において、

前記間隔情報記憶部は、画像形成条件に対応させて前記間隔情報を記憶し、

前記制御部は、前記画像形成条件に対応する前記間隔情報に基づいて前記中間転写体に

現像剤像を形成するタイミングを制御することを特徴とする画像形成装置。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の画像形成装置において、

前記制御部は、前記連続媒体を給紙する前に、前記間隔情報記憶部に記憶された間隔情報を前記画像形成条件毎の基準値で初期化することを特徴とする画像形成装置。

【請求項 5】

請求項 3 または請求項 4 に記載の画像形成装置において、

前記画像形成条件は、媒体種類、媒体サイズ、環境温度、および環境湿度の少なくとも 1 つを含むことを特徴とする画像形成装置。

【請求項 6】

請求項 3 から請求項 5 のいずれかに記載の画像形成装置において、

さらに、環境温度を検知する温度検知部を有し、

前記間隔情報記憶部は、環境温度に対応させて前記間隔情報を記憶し、

前記制御部は、前記温度検知部で検知した環境温度に対応させて前記間隔情報記憶部に前記間隔情報を記憶させることを特徴とする画像形成装置。

【請求項 7】

請求項 3 から請求項 6 のいずれかに記載の画像形成装置において、

さらに、環境湿度を検知する湿度検知部を有し、

前記間隔情報記憶部は、環境湿度に対応させて前記間隔情報を記憶し、

前記制御部は、前記湿度検知部で検知した環境湿度に対応させて前記間隔情報記憶部に前記間隔情報を記憶させることを特徴とする画像形成装置。

【請求項 8】

請求項 1 から請求項 7 のいずれかに記載の画像形成装置において、

前記間隔検知部は、反射型の光学センサであることを特徴とする画像形成装置。

【請求項 9】

請求項 1 から請求項 7 のいずれかに記載の画像形成装置において、

前記間隔検知部は、透過型の光学センサであることを特徴とする画像形成装置。

【請求項 10】

請求項 1 から請求項 9 のいずれかに記載の画像形成装置において、

前記連続媒体は、複数のラベルが間隔を有して台紙に貼付されたラベルロール紙であることを特徴とする画像形成装置。

【請求項 11】

請求項 1 から請求項 9 のいずれかに記載の画像形成装置において、

前記連続媒体は、前記現像剤像を転写する位置が予め決められたプレ印刷紙であることを特徴とする画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

そのため、本発明は、帶電された像担持体に静電潜像を形成する露光部と、前記像担持体に形成された静電潜像に現像剤像を供給することにより現像剤像を形成する現像部と、前記像担持体に形成された現像剤像を中間転写体に転写する1次転写部と、台紙上に間隔を有して設けられた複数のラベルを備える連続媒体を搬送する搬送部と、搬送される連続媒体に中間転写体に形成された現像剤像を転写する2次転写部と、連続媒体の搬送方向における前記2次転写部の上流に配置され、通過する連続媒体のラベルにおける前記現像剤像を転写する位置の間隔を検知する間隔検知部と、前記間隔検知部が検知した前記間隔を間隔情報として記憶する間隔情報記憶部と、前記間隔情報記憶部に記憶された間隔情報に基づいて前記像担持体に静電潜像を形成するタイミングを制御するとともに、前記間隔検知

部で検知した前記間隔に基づいて前記間隔情報記憶部の間隔情報を更新する制御部と、を有し、前記制御部は、前記間隔検知部を通過したラベルの前記間隔情報に基づき、該ラベルの後に搬送されて前記2次転写部に到達するラベルに対して現像剤像を転写する位置に合わせるように、前記露光部による前記像担持体に形成する静電潜像の形成タイミングを制御することを特徴とする。